

表紙のことは

しげのたかゆき「ゆめ」



Q1:「ゆめ」という題名にした理由は?→「それがいいかなと思った」

Q2:描くときに気をつけていることは?→「きれいに仕上がるように注意して描きました」

Q3:表紙に選ばれて、どんな気持ちですか?→「うれしいです」

作者は長期入院をされている50代の男性です。社会とのかかわりをもつことが少ない環境ではありますが、今回の表紙作品の応募にはとても前向きで、掲載が決まったときには嬉しそうになずいておられました。絵を描くことは本人が毎日自然に行っていることです。病棟では色鉛筆等の画材で好きな自動車の絵を描いている姿をよく見かけます。色合いはその時々でさまざまです。言葉の少ない方なのですが、絵を描くという作業は日々の色々な思いを表現したり、好きなものの世界で過ごす楽しみにつながり、本人の助けとなっているように感じられます。(担当 OT:角田 紘子)



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



矢代健一「犬いのしし」

太い体で長いしっぽ、青空の下、ただあくびをしている「犬いのしし」。いわば想像。

犬といのししとナメタジを合わせて、見たこともない生き物を描いてみたくなりました。

家ではゲーマーでいつも昼寝している、そんな自分に似ている犬いのししです。

高校ではバドミントン部で2位、野球でも2位をとりました。皆さんも定時制高校に通ってみてください。今後は、お父さんと母親と妹と北海道のいところ暮らしたいと思っています。